

平成29年度 事業報告書

西神南あんしんすこやかセンター

1. <基本方針>

- ①介護保険制度をはじめとする市町村の介護・福祉行政の一翼を担う機関であることを認識し、公正中立な事業運営を行う。また、地域の特性や実情を常に把握し何事に対しても柔軟に対応をしていく
- ②職員相互で常に情報を共有し、互いの業務の理念・基本的な骨格といったものを理解した上で、連携・協働の体制を整え、地域包括支援センター業務全体をチームとして支えていく
- ③圏域の居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・地域と密に連携をとり、地域包括ケアの充実を図る

2. <実績>

○介護予防ケアプラン数

請求合計3,372件 前年比3件増

(直営担当数:1,719件 前年比61件減、委託数1,653件 前年比64件増)

月平均は281件(前年281件)で昨年と同水準となっている。

新規ケース数は年間133件(前年比20件増)。月平均11.1件。

要介護となり終了するケースもあるが、新規ケースの増加もあり、ケアプラン総数としては横ばい。日々の相談業務の中でも、新規相談は増加傾向、認知症に関する相談ケースも多くなっている。今年度はセンター職員のケアプラン担当件数上限が、40件から35件に減少となった事や、職員の退職に伴い、平成27年度より直営担当件数は減少となったが、今年度9月よりプランナー増加となり件数は増加。30年度から更に担当件数が30件に制限される予定ではあるが、同様の水準を維持できる見込みである。

あんしんすこやかセンター 月別請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直営件数	135	128	131	136	139	144	146	152	155	152	152	149	1719
委託件数	149	144	142	141	140	141	134	131	134	131	128	138	1653

あんしんすこやかセンター 月別新規件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直営件数	3	3	4	9	5	8	2	8	6	2	3	4	57
委託件数	7	5	3	3	9	6	4	9	3	7	8	12	76

3. <目標に対しての報告>

①相談対応の充実

A) 介護者支援の充実

在宅介護をされている方を対象に、年間6回(偶数月)開催。参加者同士が、ご自身の介護体験や悩みを話せる自助グループとしての役割を担っている。窓口相談に来られた認知症ケースへの参加案内を個別に行ったり、近隣居宅への開催日の連絡等を行ない、新

規の利用者も増えている。

(内容)

4月25日：こころとからだにやさしい介護

(講師：訪問看護ステーションきらり 理学療法士 香川真二氏)

6月25日：がんばらない介護 (講師：『理由を探る認知症ケア』著者 ペ・ホス氏)

8月5日：認知症の方の介護について (講師：デイサービスあさんて管理者 加藤長年氏)

10月25日：笑いヨガ (講師：水島寿子氏)

12月20日：クリスマス会

2月20日：介護体験談 (講師：認知症家族の会 世話人 酒井邦夫氏)

B) 地域力の向上

地域の給食会などで、消費者被害の予防啓発や、低栄養予防等の介護予防を題材とした寸劇を行い、高齢者や民生委員への注意喚起を行った。

また、8月と12月に地域で活躍するボランティアを対象とした、スキルアップ講座を開催し、ボランティアの育成に力を注いだ。以後、新たなボランティアグループの立ち上がりもあった(マンション集会室での喫茶の立ち上げ、体操の教室の立ち上げ等)。

その他、圏域内の喫茶や給食会等に可能な限り参加を行い、必要時参加者への介護予防啓発等を行った。

(参加行事) 西神井吹台住宅集会所：ふれあい喫茶 やさしい体操 すこやか体操

西神南住宅集会所：バリスタはなみずき リハビリ体操

井吹東地域福祉センター：ふれあい喫茶 ふれあい給食会

井吹西地域福祉センター：給食会

北町地域福祉センター：北町カフェ

いぶきまちかど施設：いこいの広場

榎谷地域福祉センター：おもと会

ルゼフィール井吹台集会所：バリスタいばしょ すまいる元気体操等々

C) 地域の関係者との連携

◆圏域の事業所やケアマネジャーとの連携

ニュータウン地区にある他の2つの地域包括支援センター(西神中央・平野西神)と一緒に、西神地区ケアマネジャー情報交換会を開催。

7月には、圏域内市営住宅エリアを対象とした地域ネットワーク会議(地域ケア会議)を開催。ケアマネジャーや介護保険サービス事業所、民生委員、自治会、行政等の合計41名が参加。同様に、農村部である榎谷町を対象とした地域ネットワーク会議を3月に開催し、ケアマネジャー介護保険サービス事業所、民生委員、JA、郵便局、薬局、歯科医、行政等の35名が参加。いずれも内容は、認知症ライフサポート研修の事例を用い、それぞれの立場から、地域で認知症の方がおられた場合の役割について意見交換を行い、有意義なグループワークを行う事ができた。また、地域ケア個別会議に関しては、地域のケアマネジャーから相談された個別のケースに関して随時開催。家族や事業所、参加された地域住民と一緒に検討を重ねる事で、その方についての理解を深め、介護保険サービスだけでなく、地域でのサポート方法等の共有をすることができた。

◆医療機関及び行政との連携

7月12月に開催した地域ネットワーク会議には、圏域内のクリニック、歯科医、薬局などの医療関係者の参加も多くあり、地域での見守りや支援の在り方についての情報共有を行った。また、個別事例を用いた地域ケア会議は、ケアマネジャーからの相談があれば適時開催し、各機関の連携の強化に努めた(平成29年度開催回数17回)

D) 相談窓口の周知徹底

◆地域住民への周知

圏域内で行われている給食会や喫茶等には可能な限り参加し、その場をお借りして介護

予防や介護保険制度についての説明を行い、相談窓口としてのアピールを行った。
また、圏域内ふれあいまちづくり協議会の会議や、コープこうべの組合員会議等に参加させていただき、地域の現状やセンターの役割についての説明を行わせていただいた。

◆職員の技術向上

神戸市の必須研修以外にも、外部研修にできるだけ参加する機会を設け、会議にて他の職員への復講研修を行った。

(参加研修) 神戸地域包括支援センター会研修会、神戸西地域合同カンファレンス、神戸市西区地域医療多職種連携研修会、高齢者虐待対応力向上研修、地域サポート型施設普及推進事業研修会、困難事例対応力向上研修 等々

E) 認知症事業の啓発

◆認知症サポーターの養成

8月に認知症サポーター養成講座Bコースの開催を初めて圏域内で行った。地域で活躍するボランティアを対象に開催。26名参加。小学生に対しては、児童館と協議し、今年度は実施を見送り、2年に1回の開催で継続することとなる。

◆認知症支援の充実

寸劇を用いた認知症に関する啓発は行わなかったが、コープこうべと協力し、徘徊ケースの地域ケア会議を開催。徘徊を繰り返す高齢者に対し、個別の見守り体制を整える事ができた。今後はこれを機に、圏域内店舗での徘徊高齢者に対する見守り体制のシステム化を検討していきたい。

②介護予防の充実

A) 介護予防ケアマネジメントの充実

◆サービス事業所との連携

圏域内にて地域ネットワーク会議を2回開催。ケアマネジャーや介護保険サービス事業所、民生委員、自治会、病院、警察、見守り協力事業者等、合計76名が参加。模擬事例を検討する事で民生委員、自治会、ケアマネジャー、医院、行政等の多くの機関でそれぞれの役割を再確認することができた。

地域ケア個別会議においても、実際の事例について、地域と事業者、家族がよい連携が取れるように支援を行った。

◆ケアマネジメントスキルの向上

今年度は総合事業が開始となったため、神戸市が主催する研修や説明会への参加を確実にし、大きな混乱もなくサービスの調整を行う事ができた。

B) 介護予防事業への推奨

総合事業の開始や事業対象者の把握等に関しては、神戸市の研修や説明会の内容をその都度センター内でも共有する事でスムーズに事業移行ができた。

③地域見守りの強化

A) 訪問活動の継続

今年度も、あんしんすこやかルームエリアの全戸訪問を昨年度に引き続き順次実施。65歳以上の独居、75歳以上の老老世帯を中心に約500戸の訪問し、見守りリストの更新を行った。ルームエリアにおいて、民生委員毎に小地域支え合い連絡会を計5回開催した。

B) 地域団体との連携

市営住宅エリアでの地域ネットワーク会議を開催し、その後、民生委員毎に小地域支え合い連絡会を計6回開催。民生委員の担当するケースに対し1件ずつ情報交換を行った。またそれらを元に、西神井吹台住宅、西神南住宅の高齢化率や独居率等のデータを更新し、地域の課題分析を行った。

C) コミュニティ作りの充実

あんしんすこやかルームエリアにおいて、年度内にうたごえ喫茶10回、クラシックいぶき2回、リハビリ体操12回のコミュニティ事業を昨年度と同様に開催。LSAと共催で福祉講座を1回、甘味処「あまちゃん」喫茶をあんしんすこやかルームがバックアップを行い、ボランティアグループ主催で4回開催した。センター事業としては、あらたに地域の集い場として、ルゼフィール井吹台集会所にて「練功十八法」と、グランコリーナ集会所にて「カフェぐらん」の立ち上げ支援を行った。

4. 《会議》

		会議名	
開催	あんすこ・居宅内部会議(事業所内)	あんすこ単独会議(事業所内)	
	西神地区ケアマネジャー連絡会		
参加	支え合い推進員連絡会	西区あんしんすこやかセンター連絡会	
	神戸包括ブロック会議	西区SCS連絡会	
	西区医療連携認知症ワーキング会議	西区地域ケア会議ワーキング	
	職種別連絡会(主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士)		
	各民児協定例会(井吹東・井吹西・櫛谷)、井吹西自治会定例会		
	西区協議体、コープこうべねっとわーく会議		

5. 《苦情・相談結果報告》

苦情の定義→センター長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数

		平成28年度			平成29年度		
報告件数	合計件数	苦情	相談	報告件数	合計件数	苦情	相談
		0件	0件		0件		0件

6. 《総括》

ニュータウン開発25年以上が経過し、団塊世代が多い地域はこの4年で高齢化率が9%上昇と急速な高齢化が進んでいる。独居高齢者や老老世帯だけではなく、複合家族内での認知症を抱えたケースに関する相談が増加傾向にある。また、平成29年度8月より見守り推進員1名の介護支援専門員資格取得と、6月よりプランナー勤務日数増加により、担当件数が増加し、直営件数は目標値への回復ができています。平成30年度に関しても圏域内高齢者人口が6000人を超えた為、センター職員の加配を行い、直営プラン数の維持に努めたい。地域ケア会議に関しては、前年度より引き続き実際の個別事例を用いて行い、家族や住民と介護保険事業者の間での情報共有を行うことができ、地域で介護を行っていくための安心感が増したとともに、参加されたケアマネジャーの資質の向上も図ることができた。また、圏域内でも特に高齢化率の高い市営住宅エリアと、農村部において、ネットワーク会議を開催し、今後の見守り支援の在り方についての検討を行うことができた。また、昨年度より開催しているボランティア講座を、今年度はスキルアップ講座として開催。それにより、今年度も圏域内において、新たなボランティアグループによる、高齢者の集い場の立ち上げをバックアップができた。今年度は神戸市においても総合事業が開始されることとなり、現場での混乱も予想されたが、研修や説明会に参加し、センター内での情報共有を密にすることで大きな混乱もなく事業の移行を行う事ができている。